

令和7年度柴田町まちづくりアンケート調査概要

調査の目的

新たな時代のまちづくりの指針として、第7次柴田町総合計画を町民の皆様と一緒に策定するにあたり、町民の皆様のご意見・ご要望等を収集し、計画に反映させることを目的として実施しました。

調査及び回答者

◎ 調査概要

調査対象：18歳以上の町民4,000名

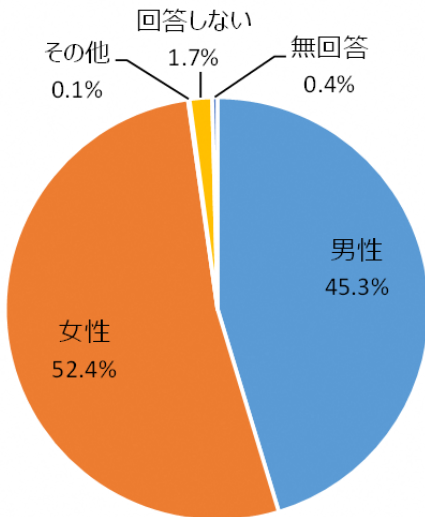
調査方法：郵送配布・回収、WEBアンケート

調査期間：令和8年1月～2月

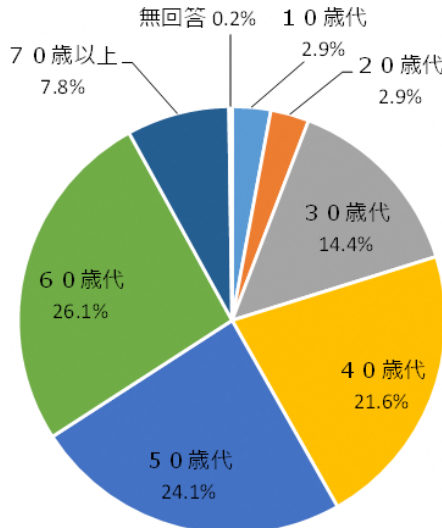
回収結果：1,749票（回答率43.8%）※不達票6票除き

◎ 回答者の概要

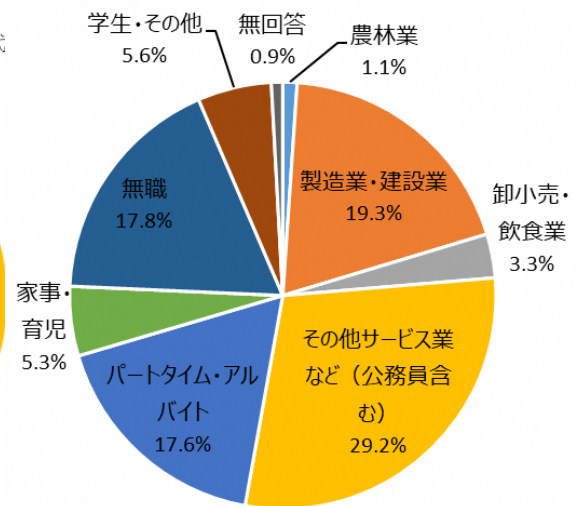
性別



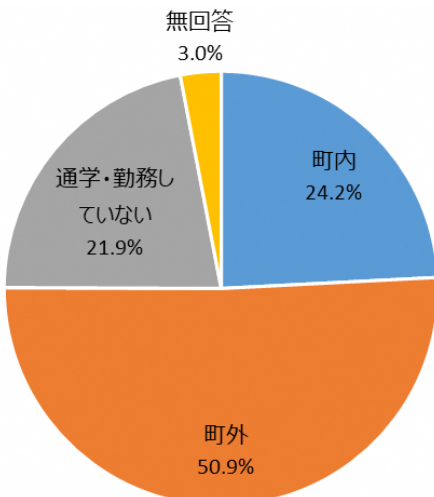
年齢



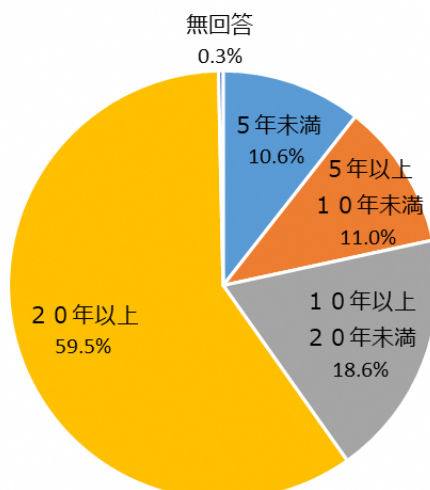
職業・仕事



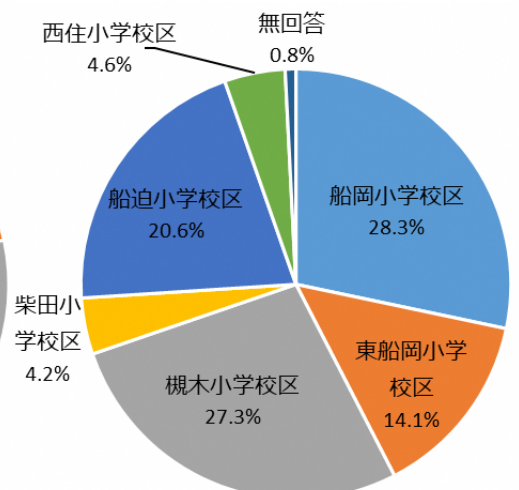
通学・通勤先



居住年数



居住地区



柴 田 町 の 住 み や す さ

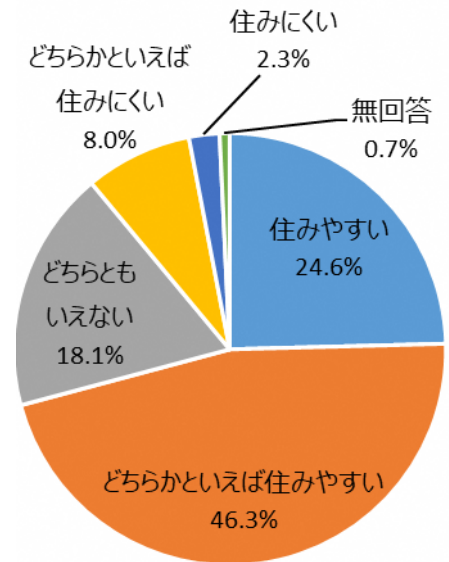
◎ まちの住みやすさについて

本町の住みやすさについては、「住みやすい」(24.6%)、「どちらかといえば住みやすい」(46.3%)を合わせた7割(70.9%)の町民は“住みやすい”と感じている一方で、「どちらかといえば住みにくい」(8.0%)、「住みにくい」(2.3%)を合わせた1割(10.3%)の町民は、“住みにくい”と感じています。

前回調査との比較では、“住みやすい”が2.4ポイント減少し、“住みにくい”と感じている割合は1.6ポイント上昇しています。

性別によるまちの住みやすさについてみると、男女とも「どちらかといえば住みやすい」が最も高くなっています。

年齢別によるまちの住みやすさについてみると、各年代とも「どちらかといえば住みやすい」が最も高くなっています。



	今回結果	前回結果	(差)
“住みやすい”	70.9%	73.3%	-2.4
“住みにくい”	10.3%	8.7%	+1.6

前回調査との比較（性別・世代別）

	“住みやすい”			“住みにくい”		無回答	※前回調査との差
	住みやすい	どちらかといえば住みやすい	どちらともいえない	どちらかといえば住みにくい	住みにくい		
男性	27.6%	43.1%	18.5%	8.3%	2.0%	0.4%	-3.4
女性	22.4%	49.3%	18.0%	7.3%	2.3%	0.8%	-3.7
10代	21.6%	51.0%	13.7%	7.8%	5.9%	0.0%	+5.1
20代	17.6%	47.1%	25.5%	9.8%	0.0%	0.0%	-8.8
30代	20.7%	47.8%	19.9%	7.6%	3.6%	0.4%	-5.8
40代	21.4%	49.5%	18.0%	8.7%	2.4%	0.0%	-3.3
50代	31.4%	44.9%	14.5%	7.4%	1.2%	0.7%	-0.6
60代	23.4%	45.3%	20.6%	7.9%	2.0%	0.9%	-4.7
70歳以上	27.9%	41.2%	17.6%	8.8%	2.9%	1.5%	+4.1

※前回調査との差：

“住みやすい”と回答した割合（「住みやすい」、「どちらかといえば住みやすい」の合計）の前回調査との差

柴 田 町 へ の 定 住 意 向

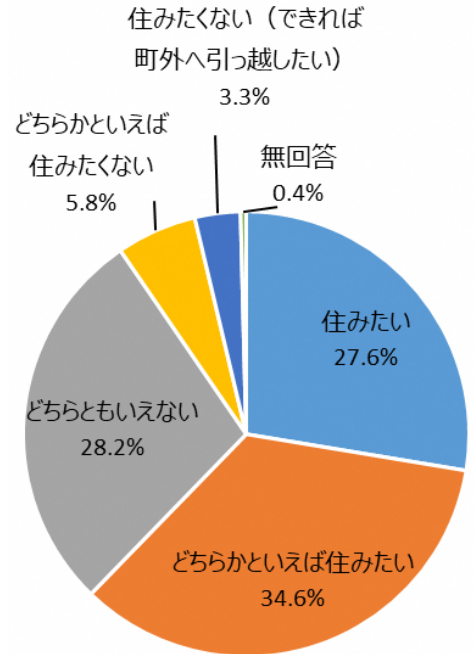
◎ まちへの定住意向について

本町にこれからも住んでいたいと思うかについては、「住みたい」(27.6%)、「どちらかといえば住みたい」(34.6%)を合わせた6割強(62.2%)の町民は“住みたい”と感じている一方で、「どちらかといえば住みたくない」(5.8%)、「住みたくない(できれば町外へ引っ越したい)」(3.3%)を合わせた1割(9.1%)の町民は、“住みたくない”と感じています。

前回調査との比較では、“住みたい”が4.3ポイント減少し、“住みたくない”と感じている割合は1.4ポイント上昇しています。

性別による定住意向についてみると、男女とも「どちらかといえば住みたい」が最も高くなっています。

年齢別による定住意向についてみると、10代は「どちらかといえば住みたい」、「どちらともいえない」、20代は「どちらともいえない」、30～60代は「どちらかといえば住みたい」、70歳以上は「住みたい」が最も高くなっています。



	今回結果	前回結果	(差)
“住みたい”	62.2%	66.5%	-4.3
“住みたくない”	9.1%	7.7%	+1.4

前回調査との比較(性別・世代別)

	“住みたい”			“住みたくない”			※前回調査との差
	住みたい	どちらかといえば住みたい	どちらともいえない	どちらかといえば住みたくない	住みたくない(できれば町外へ引っ越したい)	無回答	
男性	30.6%	33.5%	27.2%	5.5%	2.9%	0.1%	-4.0
女性	25.4%	36.1%	29.3%	5.9%	2.9%	0.3%	-6.0
10代	17.6%	31.4%	31.4%	5.9%	13.7%	0.0%	+8.5
20代	23.5%	23.5%	41.2%	3.9%	7.8%	0.0%	-7.4
30代	19.9%	33.9%	31.9%	6.8%	7.2%	0.4%	-8.6
40代	23.3%	37.6%	30.4%	5.6%	3.2%	0.0%	-6.8
50代	32.8%	33.5%	24.7%	7.1%	1.7%	0.2%	-2.3
60代	29.3%	35.7%	27.6%	5.3%	1.8%	0.4%	-7.9
70歳以上	38.2%	34.6%	22.8%	3.7%	0.7%	0.0%	+1.1

※前回調査との差：

“住みたい”と回答した割合(「住みたい」、「どちらかといえば住みたい」の合計)の前回調査との差

柴 田 町 の 魅 力

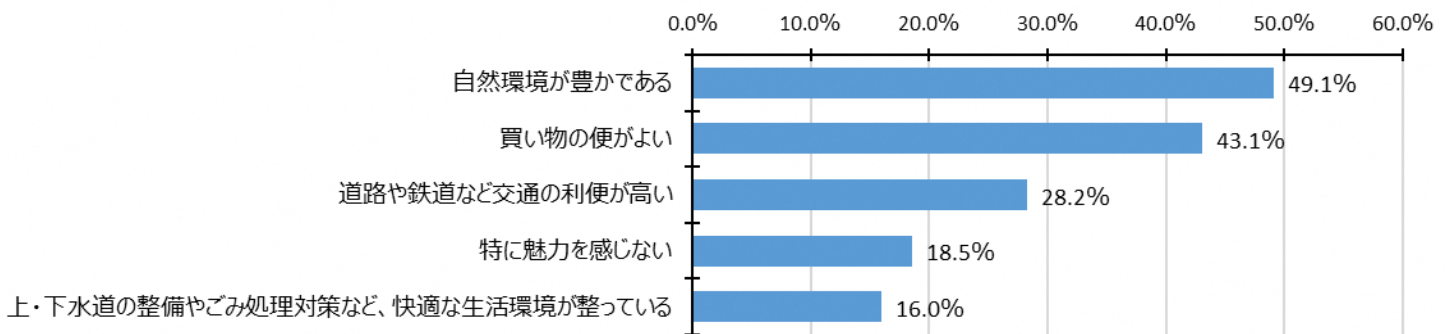
◎ まちの魅力について

本町の魅力については、「自然環境が豊かである」が49.1%と最も多く、次いで「買物の便がよい」(43.1%)、「道路や鉄道など交通の利便が高い」(28.2%)を上位に挙げています。

性別によるまちの魅力についてみると、男女とも回答全体と同様に「自然環境が豊かである」が最も高くなっています。

年齢別によるまちの魅力についてみると、各年代とも「自然環境が豊かである」、「買物の便がよい」、「道路や鉄道など交通の利便が高い」を上位に挙げています。そのほか10代で「魅力ある観光地がある」を上位に挙げています。

まちの魅力について（上位5項目）



まちの魅力について（性別・世代別：上位3位）

	第1位	第2位	第3位
男性	自然環境が豊かである (48.8%)	買物の便がよい (41.2%)	道路や鉄道など交通の利便が高い (32.8%)
女性	自然環境が豊かである (49.7%)	買物の便がよい (44.8%)	道路や鉄道など交通の利便が高い (24.4%)
10代	自然環境が豊かである (54.9%)	買物の便がよい 特に魅力を感じない (23.5%)	魅力ある観光地がある (21.6%)
20代	自然環境が豊かである (41.2%)	買物の便がよい (37.3%)	道路や鉄道など交通の利便が高い 特に魅力を感じない (21.6%)
30代	買物の便がよい (45.8%)	自然環境が豊かである (39.8%)	道路や鉄道など交通の利便が高い (28.3%)
40代	自然環境が豊かである (48.7%)	買物の便がよい (43.9%)	道路や鉄道など交通の利便が高い (29.1%)
50代	自然環境が豊かである (51.3%)	買物の便がよい (44.4%)	道路や鉄道など交通の利便が高い (27.6%)
60代	自然環境が豊かである (51.9%)	買物の便がよい (41.4%)	道路や鉄道など交通の利便が高い (29.1%)
70歳以上	自然環境が豊かである (53.7%)	買物の便がよい (47.8%)	道路や鉄道など交通の利便が高い (31.6%)

柴田町の不十分な点

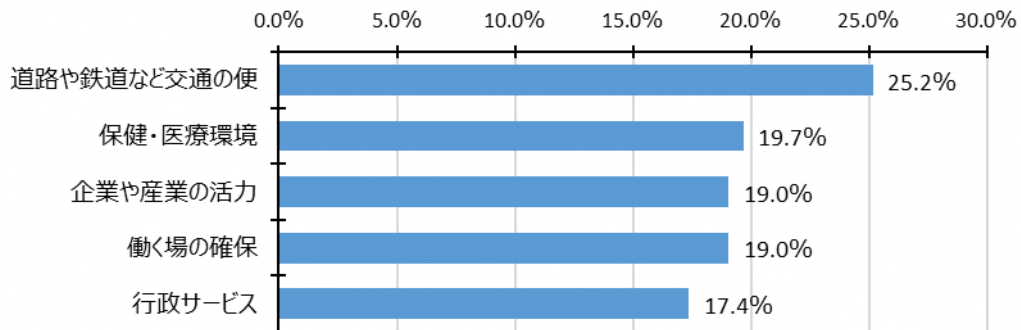
◎ まちの不十分なところについて

本町の不十分なところについては、「道路や鉄道など交通の便」が25.2%と最も多く、次いで「保健・医療環境」(19.7%)、「企業や産業の活力」、「働く場の確保」(ともに19.0%)を上位に挙げています。

性別によるまちの不十分なところについてみると、男女とも回答全体と同様に「道路や鉄道など交通の便」が最も高くなっています。

年齢別によるまちの不十分なところについてみると、各年代とも「道路や鉄道など交通の便」を上位に挙げています。そのほか10～20代で「買い物の利便性」、20～50代は「働く場の確保」、60代以上は「保健・医療環境」を上位に挙げています。

まちの不十分なところについて（上位5項目）



まちの不十分なところについて（性別・世代別：上位3位）

	1位	2位	3位
男性	道路や鉄道など交通の便 (22.8%)	企業や産業の活力 (20.7%)	保健・医療環境 (19.5%)
女性	道路や鉄道など交通の便 (27.2%)	保健・医療環境 (20.0%)	働く場の確保 (19.4%)
10代	買い物の利便性 (37.3%)	道路や鉄道など交通の便 (23.5%)	教育環境 (19.6%)
20代	道路や鉄道など交通の便 (41.2%)	子育て環境 買い物の利便性 (23.5%)	教育環境 魅力ある観光地がない (17.6%)
30代	子育て環境 (36.7%)	道路や鉄道など交通の便 (26.3%)	働く場の確保 行政サービス (19.9%)
40代	道路や鉄道など交通の便 (25.4%)	子育て環境 (23.3%)	働く場の確保 (20.1%)
50代	道路や鉄道など交通の便 (27.3%)	働く場の確保 (23.5%)	企業や産業の活力 (20.0%)
60代	保健・医療環境 (26.3%)	道路や鉄道など交通の便 (22.8%)	企業や産業の活力 (20.4%)
70歳以上	企業や産業の活力 (21.3%)	保健・医療環境 (20.6%)	道路や鉄道など交通の便 (19.1%)

まちづくりへの現状と今後の取り組み

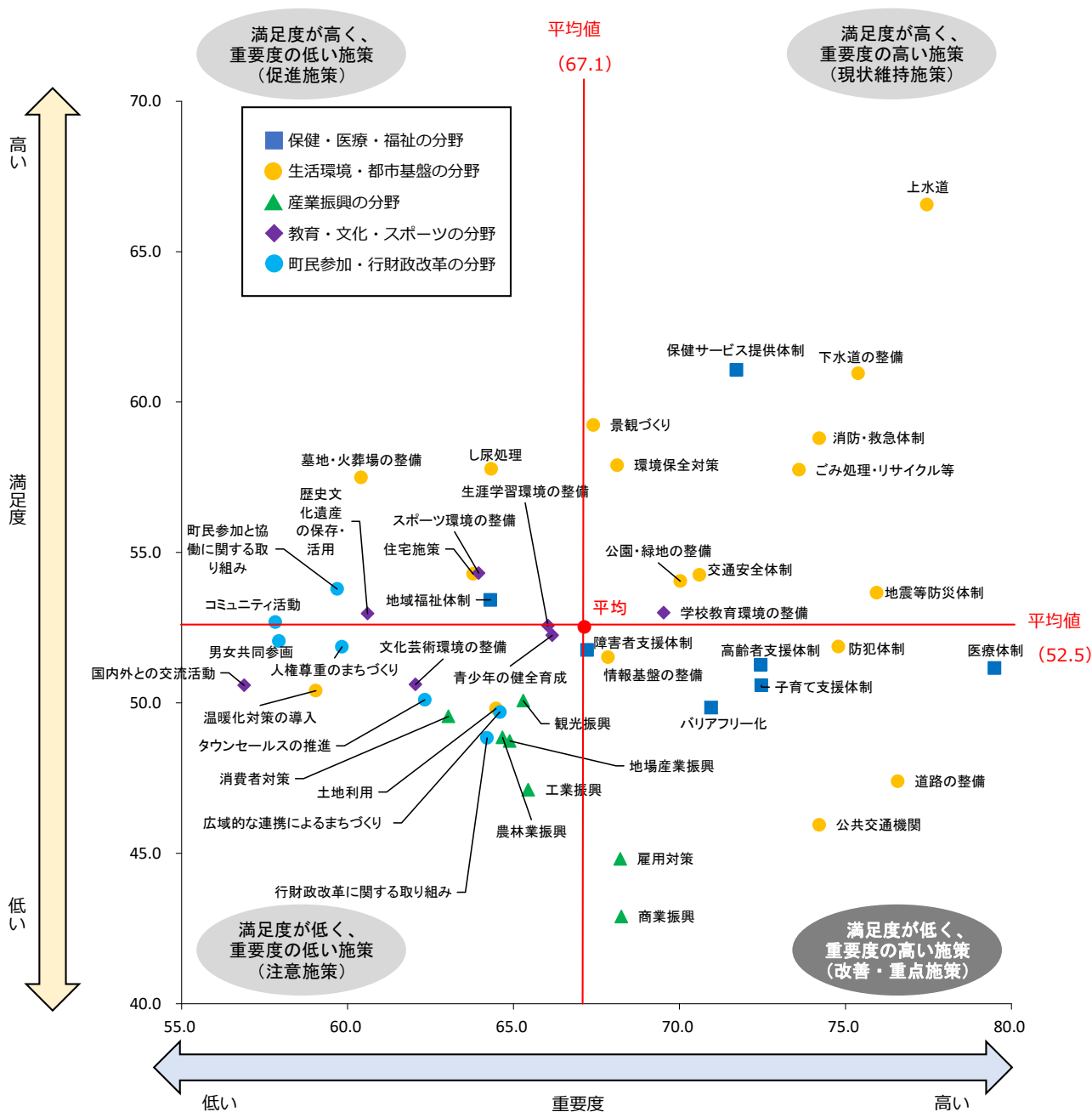
◎ 施策に対する満足度・重要度

下の表は、町民の方が町で取り組んでいる5つの分野46の施策について、満足度・重要度を回答者の平均値で点数化し、4つの項目に分類しました。

この中で右下の範囲該当する施策については、町民の方が重要と考えているにも関わらず、満足度が低くなっており、町としてはこれまでの施策を見直しながら、より一層推進する必要がある優先度の高い項目となっています。

満 足 度	重 要 度
満足している (100点)	重視する (100点)
どちらかといえば満足している (75点)	やや重視する (75点)
どちらともいえない (50点)	どちらともいえない (50点)
どちらかといえば不満である (25点)	あまり重視しない (25点)
不満である (0点)	重視しない (0点)

各施策の満足度・重要度分布 (施策全体)



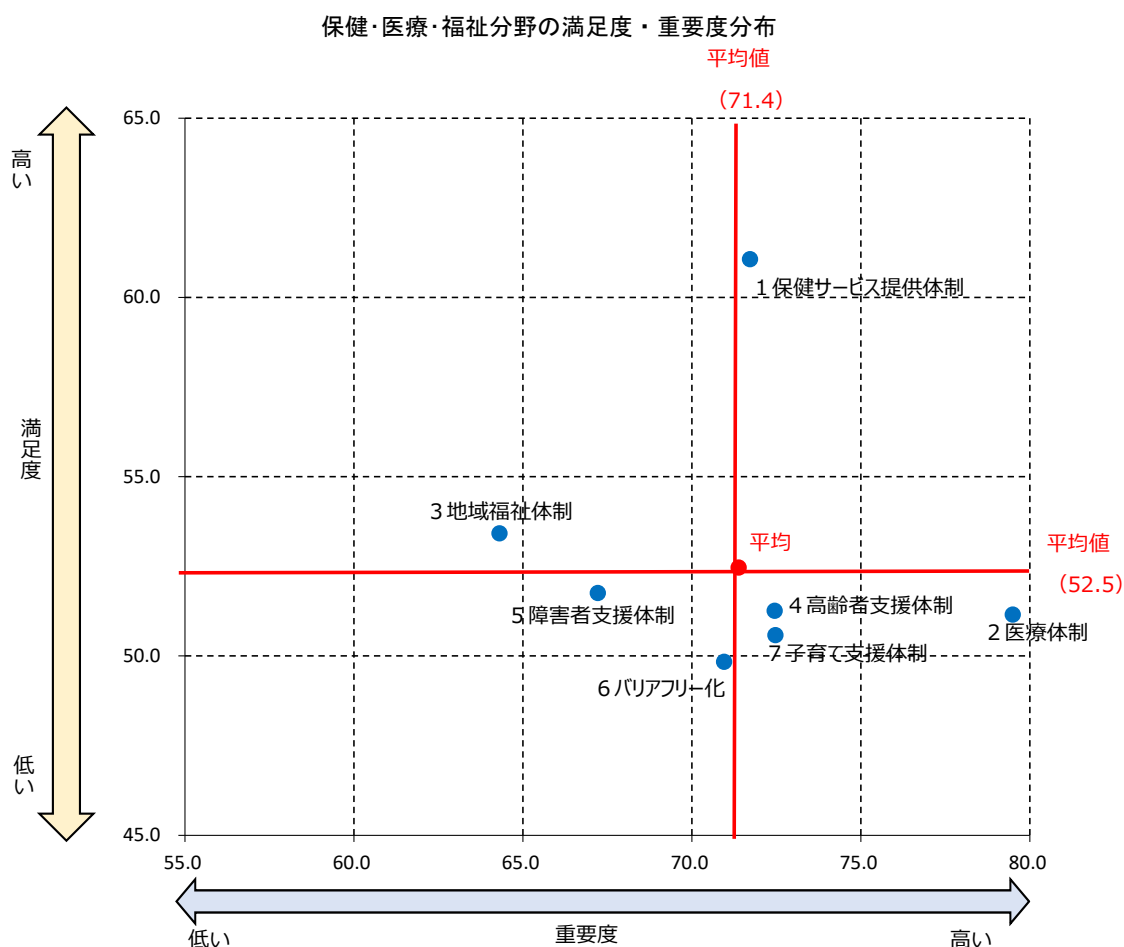
◎ 各分野での満足度・重要度

本町が取り組む46の施策について、5つの分野ごとに「満足度」と「重要度」を整理しました。

① 保健・医療・福祉の分野

保健・医療・福祉の分野は、満足度は「保健サービス提供体制」、重要度は「医療体制」が最も高くなっています。全体的に重要度が高く、今後も重点的な取り組みとみられます。

前回調査との比較では、「バリアフリー」の満足度が1.20ポイント上昇、「保健サービス提供体制」の重要度が2.45ポイント減少となっています。



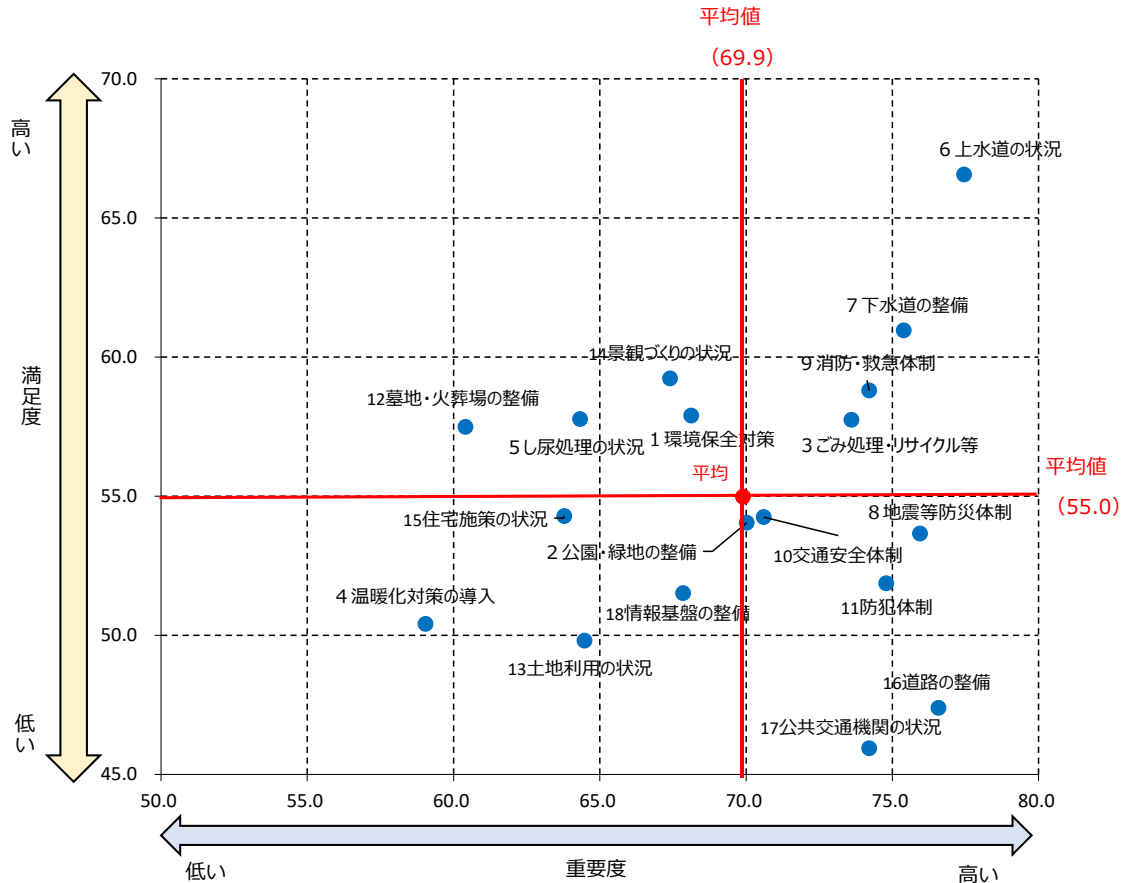
施策内容	今回調査		前回調査		比較	
	満足度	重要度	満足度	重要度	満足度	重要度
1 保健サービス提供体制（健康診査、健康相談の充実、健康づくりの充実等）	61.07	72.72	62.09	74.17	-1.02	-2.45
2 医療体制（地域医療体制の充実、救急医療体制の充実等）	51.16	79.50	51.67	80.52	-0.52	-1.12
3 地域福祉体制（地域における福祉活動の促進、福祉ボランティアの育成等）	53.42	64.31	54.08	65.96	-0.66	-1.65
4 高齢者支援体制（福祉・介護サービスの充実、生きがい対策の充実等）	51.26	72.45	52.64	72.79	-1.38	-0.34
5 障害者支援体制（障害者への福祉サービスの充実、社会参加の促進等）	51.76	67.22	52.01	67.50	-0.25	-0.28
6 バリアフリー化（段差の解消、だれもが使いやすい施設の整備等）	49.84	70.95	48.64	72.27	1.20	-1.32
7 子育て支援体制（保育・相談の充実、交流の場の提供、子ども医療費助成等）	50.58	72.47	53.90	74.10	-3.32	-1.63

② 生活環境・都市基盤の分野

生活環境・都市基盤の分野は、満足度は「上水道の状況」、重要度も「上水道の状況」が最も高くなっています。重要度の高い施策が多くみられるため、地域性や施策内容によって、計画的な推進が必要とみられます。

前回調査との比較では、「下水道の整備」の満足度が 2.84 ポイント上昇、「土地利用の状況」の重要度が 2.38 ポイント上昇となっています。

生活環境・都市基盤の分野の満足度・重要度分布



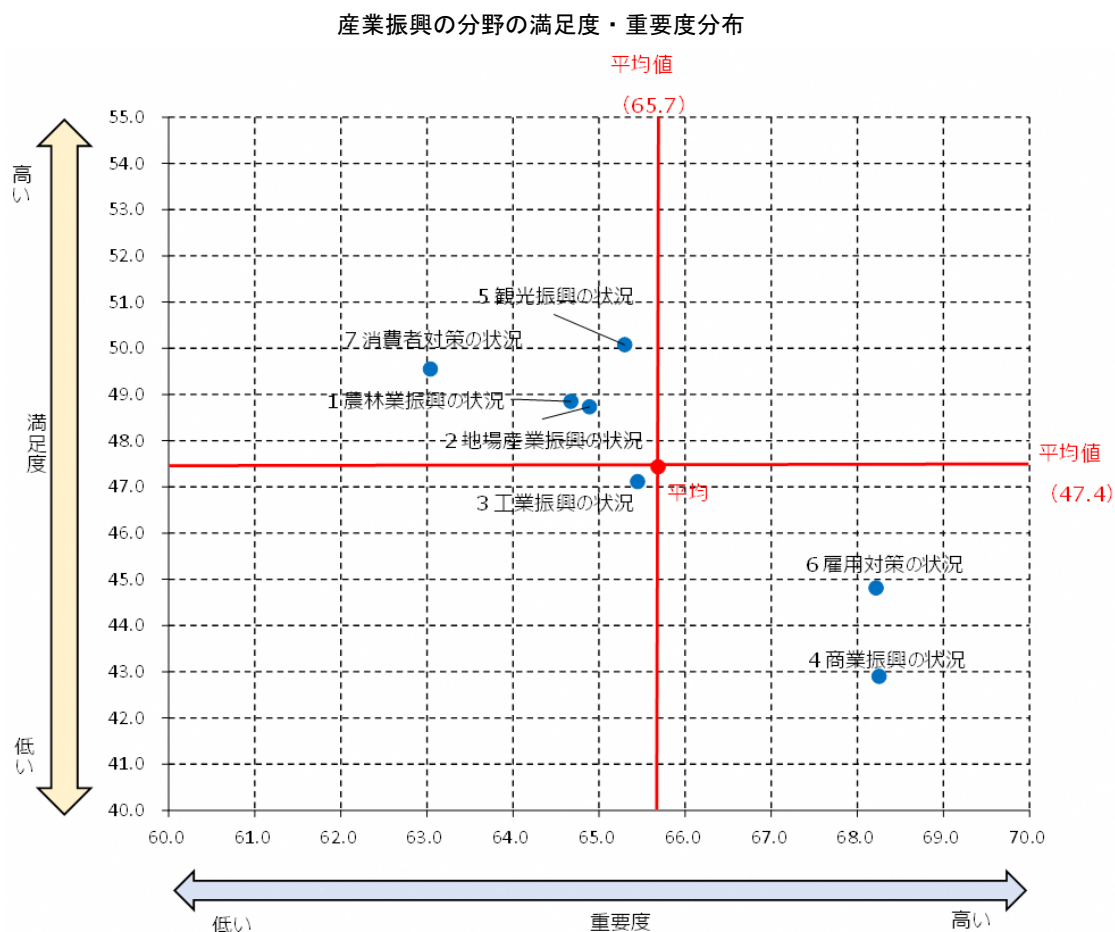
施策内容	今回調査		前回調査		比較	
	満足度	重要度	満足度	重要度	満足度	重要度
1 環境保全対策（公害の防止、自然環境の保全、環境美化・植栽活動の促進等）	57.90	68.13	57.59	69.35	0.31	-1.22
2 公園・緑地（身近な公園・広場、緑地、河川等）の整備	54.05	70.02	55.11	70.68	-1.06	-0.66
3 ごみ処理・リサイクル等（収集・処理の充実、リサイクルの促進等）	57.75	73.60	58.65	74.28	-0.90	-0.68
4 温暖化対策（低公害車・太陽光等）の導入	50.41	59.04	49.09	64.30	1.32	-5.26
5 し尿処理（適切な収集・処理の推進）の状況	57.78	64.33	58.25	64.87	-0.47	-0.54
6 上水道（安全・安心な水の安定供給の確保）の状況	66.57	77.45	65.37	76.21	1.20	1.24
7 下水道の整備（公共下水道の整備、浄化槽の普及等）	60.96	75.39	58.12	73.86	2.84	1.53
8 地震等防災体制（自主防災組織の育成、情報伝達の充実、危険箇所整備等）	53.66	75.94	51.13	77.61	2.53	-1.67

施策内容	今回調査		前回調査		比較	
	満足度	重要度	満足度	重要度	満足度	重要度
9 消防・救急体制（広域消防・救急の充実、消防団の充実等）	58.80	74.21	57.85	73.77	0.95	0.44
10 交通安全体制（意識啓発の推進、交通安全施設の整備等）	54.26	70.60	53.96	71.12	0.30	-0.52
11 防犯体制（意識啓発の推進、防犯・パトロール活動の促進等）	51.87	74.79	51.80	73.95	0.07	0.84
12 墓地・火葬場の整備	57.49	60.40	58.62	60.93	-1.13	-0.53
13 土地利用（秩序ある適正な土地利用への規制・誘導等）の状況	49.81	64.47	49.54	62.09	0.27	2.38
14 景観（柴田町らしい美しい景観や街並み等）づくりの状況	59.23	67.40	58.87	66.90	0.36	0.50
15 住宅施策（良質な住宅の建設促進、良好な住宅地の形成等）の状況	54.29	63.78	53.73	62.77	0.56	1.01
16 道路（国道、県道、町道）の整備	47.39	76.58	46.80	75.72	0.59	0.86
17 公共交通機関（JR、阿武隈急行、デマンド型乗合タクシーなど）の状況	45.94	74.21	48.54	72.87	-2.60	1.34
18 情報基盤（インターネット環境等）の整備	51.52	67.85	50.90	68.81	0.62	-0.96

③ 産業振興の分野

産業振興の分野は、満足度は「観光振興の状況」、重要度は「商業振興の状況」が最も高くなっています。全体的に満足度が低く、施策によっては注意施策、改善・重点施策に該当していますので、重点的な取り組みが必要とみられます。

前回調査との比較では、「工業振興の状況」の満足度が0.13ポイント上昇、「農林業振興の状況」の重要度が2.93ポイント上昇となっています。



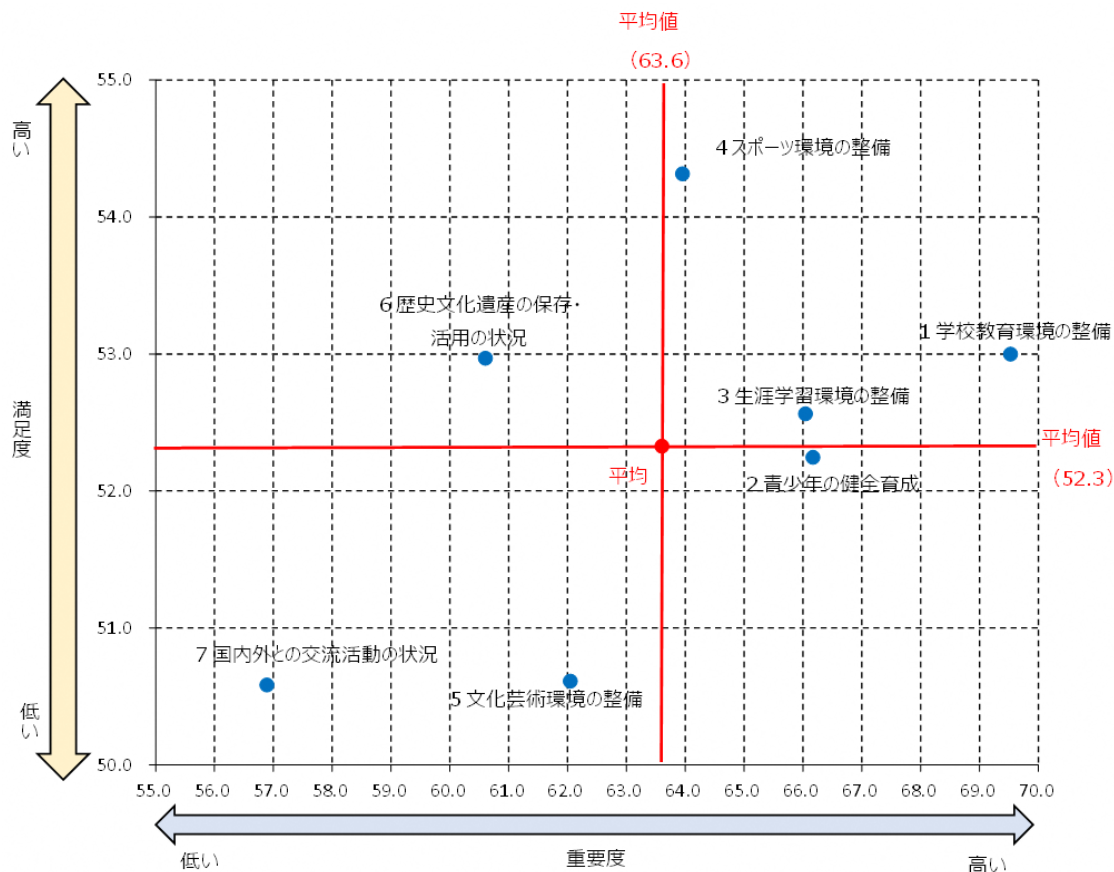
	施策内容	今回調査		前回調査		比較	
		満足度	重要度	満足度	重要度	満足度	重要度
1	農林業振興（担い手の育成、生産性向上、農地の整備、森林保全等）の状況	48.85	64.67	48.75	61.74	0.10	2.93
2	地場産業振興（商品のブランド化、産直活動推進）の状況	48.73	64.89	48.65	62.62	0.08	2.27
3	工業振興（既存企業の経営改善、企業の誘致、新産業の育成等）の状況	47.11	65.45	46.98	64.28	0.13	1.17
4	商業振興（商店経営の改善、商業集積づくりの推進等）の状況	42.90	68.25	43.95	66.69	-1.05	1.56
5	観光振興（観光資源の開発・活用、PR活動の充実等）の状況	50.07	65.30	50.57	64.12	-0.50	1.18
6	雇用対策（相談・情報提供の充実、雇用機会の向上等）の状況	44.81	68.22	45.98	67.80	-1.17	0.42
7	消費者対策（トラブル防止・解消のための啓発・相談の充実等）の状況	49.55	63.04	50.22	62.37	-0.67	0.67

④ 教育・文化・スポーツの分野

教育・文化・スポーツの分野は、満足度は「スポーツ環境の整備」、重要度は「学校教育環境の整備」が最も高くなっています。現状維持施策が比較的多く、今後も継続的な取り組みが必要とみられます。

前回調査との比較では、「スポーツ環境の整備」の満足度が 4.15 ポイント上昇、「歴史文化遺産の保存・活用の状況」の重要度が 1.82 ポイント減少となっています。

教育・文化・スポーツの分野の満足度・重要度分布

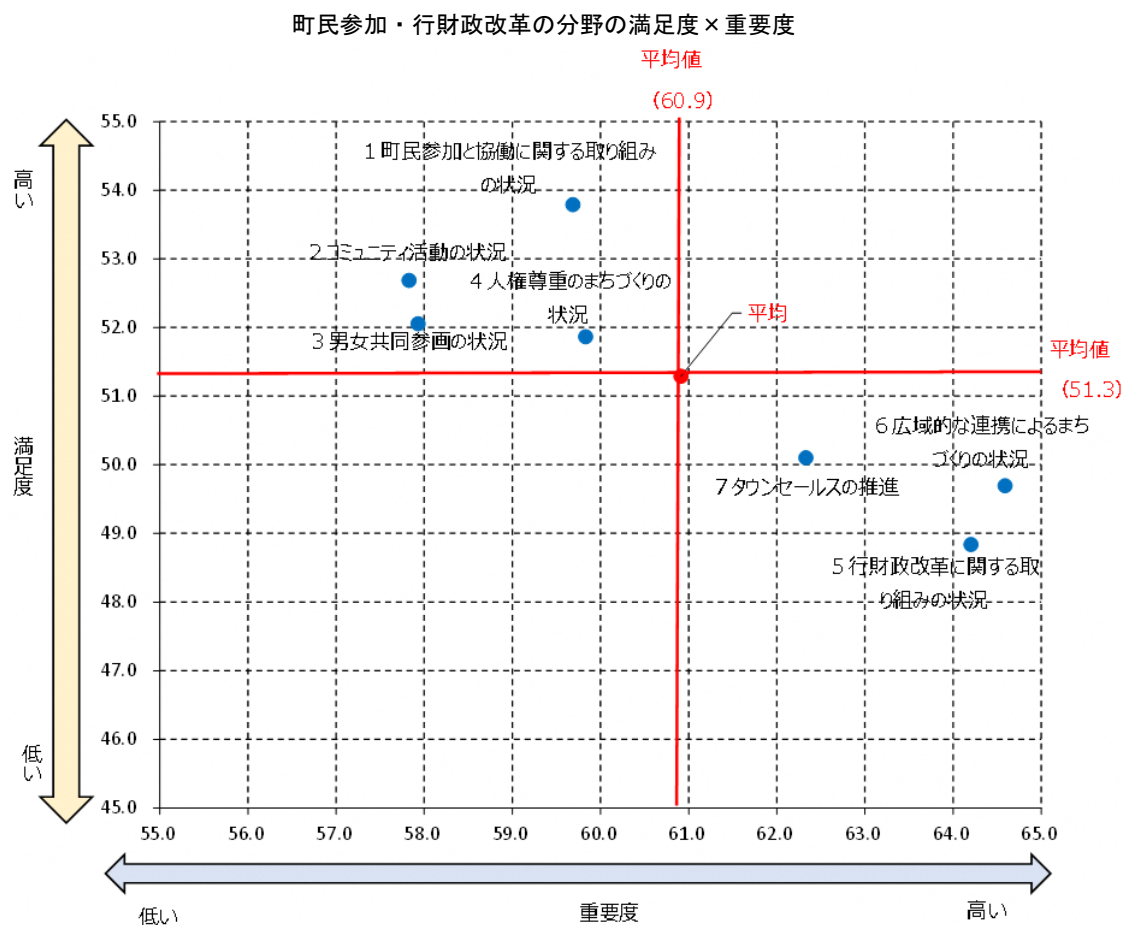


施策内容	今回調査		前回調査		比較	
	満足度	重要度	満足度	重要度	満足度	重要度
1 学校教育環境（教育内容の充実、施設の充実等）の整備	53.00	69.52	52.71	71.35	0.29	-1.83
2 青少年の健全育成（健全育成体制の充実、自主的活動の促進等）	52.25	66.17	51.97	66.07	0.28	0.10
3 生涯学習環境（推進体制の充実、学習機会・場の充実等）の整備	52.56	66.04	51.93	66.43	0.63	-0.39
4 スポーツ環境（スポーツ団体の育成、施設の充実等）の整備	54.31	63.95	50.16	64.36	4.15	-0.41
5 文化芸術環境（文化団体の育成、施設の充実等）の整備	50.61	62.04	49.12	62.45	1.49	-0.41
6 歴史文化遺産（史跡・伝統芸能等）の保存・活用の状況	52.97	60.60	52.67	58.78	0.30	1.82
7 国内外との交流活動（国内・国際交流活動・情報の発信等）の状況	50.58	56.89	50.11	56.11	0.47	0.78

⑤ 町民参加・行財政改革の分野

町民参加・行財政改革の分野では、満足度は「町民参加と協働に関する取り組みの状況」、重要度は「広域的な連携によるまちづくりの状況」が最も高くなっています。全体的に重要度が低いものの、施策によっては、改善・重点施策に該当しています。

前回調査との比較では、「男女共同参画の状況」の満足度が 0.75 ポイント上昇、「広域的な連携によるまちづくりの状況」の重要度が 2.17 ポイント上昇となっています。



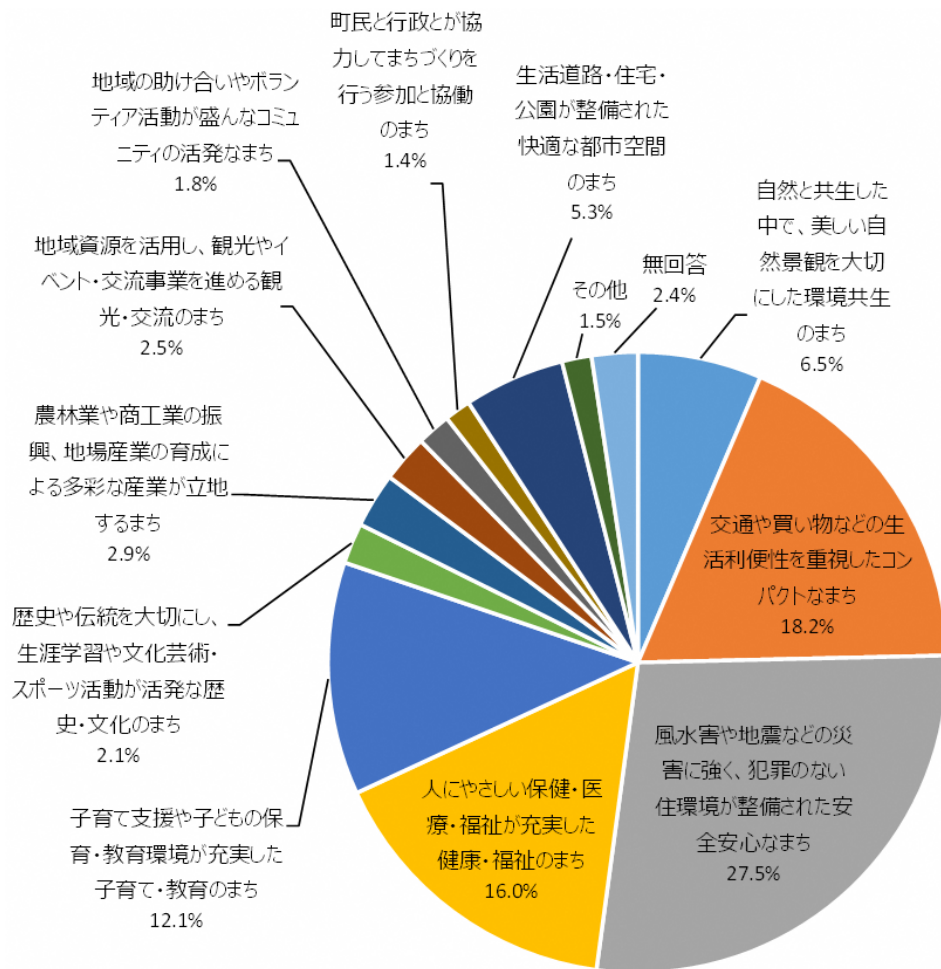
施策内容	今回調査		前回調査		比較	
	満足度	重要度	満足度	重要度	満足度	重要度
1 町民参加と協働に関する取り組み(広報・広聴、町民活動の支援等)の状況	53.79	59.69	53.81	59.12	-0.02	0.57
2 コミュニティ活動(身近な地域や町内会等における共同活動)の状況	52.69	57.83	53.24	57.52	-0.55	0.31
3 男女共同参画(男性も女性も等しく社会参画できる環境づくり等)の状況	52.05	57.93	51.30	57.91	0.75	0.02
4 人権尊重のまちづくり(人権教育・啓発の推進等)の状況	51.36	59.83	51.37	60.95	0.49	-1.12
5 行財政改革に関する取り組み(組織や事務事業の見直し等)の状況	48.84	64.20	48.81	62.63	0.03	1.57
6 広域的な連携(周辺の市町との連携・協力)によるまちづくりの状況	49.70	64.59	49.55	62.42	0.15	2.17
7 タウンセールス(イベント情報の提供・イメージアップづくり等)の推進	50.10	62.33	50.14	60.21	-0.04	2.12

◎ まちの将来像（8年後）について

まちの将来像については、「風水害や地震などの災害に強く、犯罪のない住環境が整備された安全安心なまち」が27.5%と最も多く、次いで「交通や買い物などの生活利便性を重視したコンパクトなまち」(18.2%)、「人にやさしい保健・医療・福祉が充実した健康・福祉のまち」(16.0%)を上位に挙げています。

性別によるまちの将来像についてみると、男女とも回答全体と同様に「風水害や地震などの災害に強く、犯罪のない住環境が整備された安全安心なまち」が最も高くなっています。

年齢別によるまちの将来像についてみると、各年代とも「交通や買い物などの生活利便性を重視したコンパクトなまち」を上位に挙げています。そのほか10～40代で「子育て支援や子どもの保育・教育環境が充実した子育て・教育のまち」、40代以上で「人にやさしい保健・医療・福祉が充実した健康・福祉のまち」を上位に挙げています。



まちの将来像（8年後）について（性別・世代別：上位3位）

	1位	2位	3位
男性	安全安心なまち (25.6%)	コンパクトなまち (20.9%)	健康・福祉のまち (14.1%)
女性	安全安心なまち (29.1%)	健康・福祉のまち (17.7%)	コンパクトなまち (16.0%)

10代	コンパクトなまち (33.3%)	子育て・教育のまち (17.6%)	健康・福祉のまち (15.7%)
20代	子育て・教育のまち (29.4%)	コンパクトなまち (21.6%)	安全安心なまち 快適な都市空間のまち (13.7%)
30代	子育て・教育のまち (29.9%)	安全安心なまち (20.7%)	コンパクトなまち (18.3%)
40代	安全安心なまち (29.0%)	コンパクトなまち 子育て・教育のまち (16.1%)	健康・福祉のまち (13.0%)
50代	安全安心なまち (26.6%)	コンパクトなまち (20.4%)	健康・福祉のまち (16.9%)
60代	安全安心なまち (32.6%)	健康・福祉のまち (21.2%)	コンパクトなまち (17.7%)
70歳以上	安全安心なまち (35.3%)	健康・福祉のまち (19.9%)	コンパクトなまち (11.8%)